

ENSDF グループ平成 23 年度会合議事録

日時 平成 24 年 2 月 10 日 午後 1 時 30 分～4 時 30 分

場所 原子力機構 東京事務所ミーティング A

出席者 片倉純一（原子力機構）、飯村秀紀（原子力機構）、大矢進（元新潟大）、
喜多尾憲助（元放医研）、橋爪朗（元理研）、神戸政秋（東京都市大）

配付資料 (1) 各質量数の Nuclear Data Sheets (NDS) の出版年
(2) A=118 のデータセット一覧

議事：(1) 作業状況の確認

配布資料 (1)、(2)により、作業状況の確認を行った。A=127（橋爪）の NDS が今年度出版された。A=118（喜多尾、神戸）は、評価作業を進めているが、まだ終了まで時間がかかる。A=120（橋爪）は、評価作業の手始めとして、文献収集を行った。A=126（飯村、片倉、大矢）は、これから元素毎に分担して評価作業を始める。

(2) 評価作業の経験交換

本年度 4 月に IAEA で開かれた評価者ネットワーク会議のレポートおよびスライドを基に、ENSDF の評価手法を確認した。特に、質量の評価値は Audi の 2011 年版を使い、従来用いていた 2003 年版はコメントに記載することを確認した。同様にモーメントについても、Stone の 2011 年版を使うことを確認した。また、中性子捕獲反応の一次 γ 線を ENSDF の adopted dataset に含める方針になったことを受けて、関連するデータをどのように記述するか議論した。その他、内部転換電子の計算コード BRICC や、書式チェックのための計算コード FMTCHK の使い方について経験を交換した。また、文献の取得方法についても情報を交換した。

(3) 新しい評価者を探すこと

グループのメンバーが減り、それぞれが評価作業に費やせる時間も限られているので、新しい評価者をどのようにしたら探せるのか検討した。

(4) 核図表

核図表の 2012 年版の出版を予定している。